

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年4月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4692600010
法人名	社会福祉法人 恵愛会
事業所名	グループホーム「このゆびとーまれ」
所在地	鹿児島県南九州市知覧町永里4577番地2 (電話) 0993-83-1015
自己評価作成日	平成23年3月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年4月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な明るい雰囲気ของกลุ่มホームを目指している。職員間のコミュニケーションがよくとれており、仲がよいので、いつも笑い声が聞こえている。そのため、利用者も遠慮せずに感情を表出できている。利用者の高齢化は進んでいるが、歩行等が難しくなっても自分で歩くことを支援している。職員の異動が少なく、安定した信頼関係ができている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自然豊かな町の郊外にあり、複数ある介護事業所と連携を密にしたホームである。

職場環境が整備されてるため離職者が少なく、職員と利用者や家族等との馴染みの関係が築かれている。

職員は、「人格尊厳」「自立支援の徹底」「家庭の延長としての暮らしを」を目標に、ミーティング用の個別一覧表を作成して、レベル低下に対する支援方法を検討し、気づきやアイデアが記録されている。

ケア会議等では、職員の活発な意見交換がされ、ケアの質の向上に活かされている。

ホールや全居室にテラスが設けられ、非常時には避難経路として園庭に出られるように工夫されており、災害対策・安全確保に繋がっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着サービスの異議をふまえた理念を作っており、来賓や職員の目に触れるところに提示してある。ミーティングや運営推進会議において、意義を確認している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を、開設時に作り上げている。ミーティング時や運営推進会議時などに、指針としての理念について、確認し合い、日々のケアに活かすようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	学童保育所との定期交流を続けている。地元の中学、高校の職場体験の受け入れ、地域行事への参加等で地域交流をはかっている。	二日市や菜の花祭り・文化祭等、地域の行事に参加したり、併設の通所利用者・学童保育所などとの交流に努めている。また、専門校生、中高校生の実習を受け入れ、また、見学者や家族等に認知症の理解や支援の方法等、伝えながら地域交流に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	人材育成のための実習生の受け入れを積極的に行っている。また、見学者や入所申込者等に対し、認知症の理解や支援の方法について伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>毎回多くの参加者があり、活発な意見交換がされている。評価についても毎年報告しており、理解が得られている。</p>	<p>恒例の参加者に、新メンバーとして消防署員2名の参加を得て、定期的に開催されている。防火安全対策や看取りについて、貴重なアドバイスや意見が出て、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市の担当者には、事業所の状況についてこまめに報告している。また、運営推進会議には必ず参加してもらい、よく連携がとれている。</p>	<p>市の担当者とは、利用者のことや運営について報告したり、制度やサービスの仕組み等を相談しながら連携を取っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関する研修を定期的に行っている。玄関は危険防止のため施錠していることが多いが、見守り可能なベランダ出入口は施錠していない。玄関もチャイムの設置等により施錠なしのケアに努めている。</p>	<p>スタッフ会議や勉強会時に具体的な事例を設けて学習し、身体拘束をしない支援について確認し合っている。玄関の開閉はチャイムや鈴を利用しながら、職員は見守りに努めている。家族の協力をもらいながら、工夫して、拘束のない自由な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止法の研修を、定期的におこなっている。どのような言動が虐待にあたるのかを具体的に学習し、ケアの見直しにつなげている。</p>			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>定期的に権利擁護に関する研修を行っている。以前、具体的に支援を行った例があり、活用の準備はできている。</p>			
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約前には本人、家族との面談の時間を十分にとり、不安の解消に努めている。解約の際も家族と面談し、支援を続けることを説明している。</p>			
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>毎月、利用料の支払時に必ず職員が面談している。また、運営推進会議にはほとんどの家族が出席され、意見交換される。利用者が遠慮なく職員に意見を言える雰囲気がある。</p>	<p>来訪時や月次報告時に意見や要望を聞くようにしている。ケア時に察知した事をケース記録に記載し、それらをもとに話し合い、利用者・家族等の立場に立った支援に努め、運営に反映させている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月2回のミーティング時に活発な意見交換がなされ、合意されたことはただちに運営に反映させている。	運営者・管理者は、常に職員と話し合う場を設けており、意見やアイデアを大切にしている。利用受入れやプラン作成についても、職員の意見を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者はよく現場を訪れて職員の意見を聞き、良好なコミュニケーションが保たれている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が法人内外の研修を受けることが出来るよう、バックアップしている。職員の意欲も高い。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部の研修等に、積極的な参加を勧めている。地区のグループホーム協議会等へもできる限り参加している。</p>		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用開始前の相互訪問により、ある程度のなじみの関係を作っている。各々の職員が接することで得られた情報を共有して、安定した環境作りに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用申込から利用開始まで、家族と何度も面談して、家族との信頼関係を作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居申込から利用開始まで、本人や家族とじっくりと話し合う機会を設けている。必要に応じて他のサービスも紹介している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者と職員がゆっくり談笑する機会が多く、昔話をよく聞くことができる。夕食後に一緒に歌ったり踊ったりすることもある。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	基本的に定期受診や利用料支払いを家族にお願いしているので、その折に必ず職員が面談し、情報交換や意見交換を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望に応じて美容院や自宅訪問を支援している。来客の折には居室でゆっくり出来るよう配慮している。	友人や身内の面会・デイサービス利用者の知人の面会を促したり、自宅訪問や馴染みの美容室へ出かけるなどして、関係が継続できるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係に配慮した座席潤を決めている。職員が中に入ることでコミュニケーションがスムーズになるよう気を配っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院、退所された方とも交流を続けている。、病院の相談員と連携して退院後の相談に応じている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用開始時に、家族や担当ケアマネから可能な限りの聞き取りを行っている。また、本人との会話から意向を汲み取るように努めている。	選択肢を増やし、分かりやすく説明して、楽しく会話できる環境づくりに努めている。また、表情や言動から思いを把握したり、家族・職員からの情報を記録し、一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始前から開始後も継続して、本人や家族からの聞き取りを行い、職員間で情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>日勤、夜勤の職員が交代で見守りを行い、引継ぎと記録と申し送りですべて職員が現状を把握するよう努めている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族との面談や日常のかわりから課題を抽出し、わかりやすい介護計画を作成するよう努めている。職員全員でモニタリングを行っている。</p>	<p>本人や家族の意向を反映したケアプランに努めている。モニタリングは全員で行い、予定表にて実施月を確認している。3ヶ月毎に見直しして支援方法を必要に応じて工夫している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日勤者、夜勤者が交代で個別記録を作成し、全職員が目を通している。その情報をもとに、ミーティングや引継ぎで活発に意見交換している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個々の必要に応じて受診付き添いや買い物代行、外出支援など柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議に地域の代表者に来てもらい、利用者、家族と交流していただいている。避難訓練や防災講習に消防署の指導を受けている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所前からのかかりつけ医を受診できるよう、主治医と連携して支援している。</p>	<p>本人や家族等の希望しているかかりつけ医の受診を支援している。また、訪問看護との連携がとれており、適切な医療支援が行われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>2週間に1度の訪問看護のさい、看護師と職員が情報交換し、健康管理に努めている。オンコールの利用で適切な受診につなげている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院後1週間から10日後に、医療機関に連絡して容態を確認するとともに、早期退院の協議を行っている。受け入れ病院とは、相談員やケアマネを通して連携がとれている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議において定期的にとりあげ、家族と協議している。職員の研修も行い、方針を共有している。</p>	<p>重度化や終末期についての指針が作成されている。ホームが支援できる方向性を職員になげかけて一定の方針ができています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを作成し、職員は訓練や研修を定期的に行っている。	/	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の法人合同の避難訓練の他、グループホーム単独の夜間対応避難訓練を定期的に行っている。法人全体で地域との共同体制がある。	災害訓練や昼・夜間想定避難訓練を消防署協力のもと定期的に行っている。火災通報装置や火災報知機の設置・各居室からの避難経路の整備や地域との協力体制を築きながら安全対策に努めている。災害用の備蓄もされている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの尊重に関する研修を定期的に行い、自分達の介護を振り返っている。排泄に関する介護には特に気を使っている。	ケア時やミーティング時に、尊厳に対するケアのあり方を話し合い、職員の意識づけとしている。職員採用時の誓約書や個々のプライバシーに関する取り扱い等の管理体制もできている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の利用者に合わせた声かけを行い、見守りをしつつ本人のしたいことを自由にできるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、できるだけ時間を区切らず、本人のしたいことが出来るよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服は自分が着たいものを着用できるよう支援しており、利用者は好きなように身だしなみを整えている。なじみの美容院へ定期的に行く利用者も居られる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の内容に関しては、本人の好みやこだわりを尊重し、利用者と職員と一緒に食事を楽しんでいる。利用者の能力に応じて一緒に作業している。	利用者の身体状況に合わせた食事形態や本人の生活のリズムに配慮した食事作りとなっている。また、できる利用者には、手伝いしてもらいながら、職員と一緒に食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を個別に記録、管理栄養士との連携、定期的な体重測定を行うことで、個々の食習慣を尊重した支援に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々の状態に応じて口腔ケアの声かけや支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	できるだけトイレで排泄できるよう、個々に合わせたトイレ誘導を行っている。羞恥心に配慮した見守りのやり方を工夫している。	排泄チェック表をもとにパターンを把握し、職員間の連携を密にしながらか見守りに努めている。「基本的に自分で！」を目標にトイレ誘動に心がけて、自立に向けた支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	看護師や管理栄養士と連携し、食物繊維や水分の摂取、運動の声かけをおこなっている。便秘の状態を個々に記録して、服薬の支援も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には1日おきの入浴であるが、個々の状態や希望に応じて柔軟に対応している。	1日おきの入浴日が決められているが、本人の希望や身体状況に合わせた入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	基本的に、昼は起きて夜は寝ていただくように支援している。個人の状態にあわせて、時間は決めていない。ラジオや雑誌の居室への持ち込みも勧めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の情報をいつでも確認できるよう、ケース記録に説明書を挟んである。薬の変更は必ず申し送りに記入して全員に周知し、症状の変化を記録している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ひとりひとりの状態を把握して、仕事をしていただいている。家族から嗜好や趣味を聞き取り、編み物、裁縫、歌や脳トレなど、個々に合わせて支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>ほぼ毎月、季節や地域行事に合わせた外出を行っている。施設独自で個々の希望に合わせるのには難しいことが多いが、家族の協力を得て、本人の希望に沿った外出支援をお願いしている。</p>	<p>日常的に買物や散歩等の支援をしている。また、受診時の墓まいりや自宅訪問など、行事計画に外出できる計画を組み込み、機会づくりを工夫し、閉じ込められない支援に努めている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持を希望する利用者は、家族の了解のうえで所持されている。外出時などには自由に買い物できるよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話はいつでもかけられると利用者にお伝えしている。電話の依頼は多く、できるだけ希望に応じられるよう、家族の了解を得ている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感を取り入れた飾りつけをし、自然の光を取り入れ、ベランダから外に続く開放的な環境がある。共用空間には仕切りが無く、話し声や台所の音がいつでも聞こえて、家庭的な雰囲気がある。</p>	<p>採光・換気・温度・湿度・音に配慮され、清潔である。丸テーブルと四角テーブルを利用した食堂ホール、タタミ部屋、随所にくつろげるソファが置かれている。季節行事の写真や装飾品が掲示されて家族的で落ち着いた雰囲気の共用空間作りとなっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室には冷暖房やホットカーペットを準備し、共通のくつろぎの場としている。天気の良い日にはベランダのベンチで自由に過ごすことができる。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人や家族と話し合っ、めいめい居心地よく居室を利用してもらっている。各居室からベランダに出ることができ、好きなように利用されている。</p>	<p>ラジオや雑誌・タンス・椅子・加湿器・家族写真など、馴染みの物が持ち込まれている。見守り用の鈴や個々の状態に合わせた手すりの設置など、工夫が行き届き居心地のよい、個性的な居室づくりとなっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室は個々の状態に合わせたわかりやすい配置にし、必要に応じて手すりなどを設置している。さりげない見守りのため、工夫を凝らしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない